



千曲市議会だより

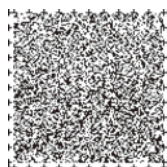
No.79

2・3月議会

令和3年5月1日発行

みんな★の議会

アルプス望むあんの里



(音声コード)

2月臨時会

3月定例会

議案審議結果…………… P 2

委員会報告…………… P 10

一般質問（代表）…………… P 12

一般質問（個人）…………… P 16

議案番号	件 名	結果
議案第 6 号	千曲市個人番号カードの利用に関する条例の一部を改正する条例制定について	○
議案第 7 号	千曲市長等の給料の減額に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第 8 号	千曲市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第 9 号	千曲市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第10号	千曲市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第11号	千曲市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第12号	千曲市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第13号	千曲市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第14号	千曲市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第15号	千曲市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第16号	千曲市商工業振興条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第17号	令和 2 年度千曲市一般会計補正予算（第10号）の議定について	◎
議案第18号	令和 2 年度千曲市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）の議定について	◎
議案第19号	令和 2 年度千曲市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）の議定について	◎
議案第20号	令和 3 年度千曲市一般会計予算の議定について 	◎
議案第21号	令和 3 年度千曲市国民健康保険特別会計予算の議定について	○
議案第22号	令和 3 年度千曲市同和対策住宅新築資金等貸付事業特別会計予算の議定について	◎
議案第23号	令和 3 年度千曲市介護保険特別会計予算の議定について	◎
議案第24号	令和 3 年度千曲市後期高齢者医療特別会計予算の議定について	◎
議案第25号	令和 3 年度千曲市下水道事業会計予算の議定について	◎
議案第26号	令和 3 年度千曲市水道事業会計予算の議定について	◎
議案第27号	長野広域連合規約の一部を改正する規約制定について	◎
議案第28号	長野広域連合規約の改正に伴う財産の処分について	◎
議案第29号	長野市及び千曲市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部を変更する連携協約の締結について	◎
議案第30号	市道路線の認定について	◎
議案第31号	市道路線の変更について	◎

2 月臨時会

（2 月 3 日）

更埴文化会館の災害復旧に関連した契約と 新型コロナウイルスに係る補正予算案を可決

2 月臨時会では、令和元年東日本台風により被災した更埴文化会館の災害復旧に関わる議案 3 件と新型コロナウイルス感染予防対策で、市民の皆さんに円滑にワクチン接種を実施するための接種体制確保とワクチン接種事業費用が盛り込まれた補正予算案を審議し、全ての議案を全会一致で可決しました。

議案審議結果

採決結果：◎全会一致で可決

議案番号	件 名	結果
議案第 1 号	令和 2 年度千曲市更埴文化会館施設災害復旧機械設備工事請負契約の締結について	◎
議案第 2 号	令和 2 年度千曲市更埴文化会館施設災害復旧建築主体工事請負契約の締結について	◎
議案第 3 号	令和 2 年度千曲市更埴文化会館施設災害復旧電気設備工事請負契約の締結について	◎
議案第 4 号	令和 2 年度千曲市一般会計補正予算（第 8 号）の議定について	◎

議案 … 4 件

3 月定例会

（3 月 1 日～3 月 19 日）

副市長選任案を否決、 令和 3 年度一般会計・特別会計予算案を可決

3 月定例会では、千曲市一般会計予算案や副市長の選任案を含む 38 件の議案等を審議しました。

本定例会においては、初日に副市長の選任案を否決。また、最終日では屋代地区大規模開発及び市道一重山 2 号線にかかる件について、市民や議会への説明不足を指摘し、今後予算執行に当たっては適切な措置を講じることを求める附帯決議案を全会一致で可決。令和 3 年度一般会計予算案は原案可決となりました。

議案審議結果

採決結果：◎全会一致で可決・承認・同意 ○賛成多数で可決 × 否決（不同意）

議案番号	件 名	結果
専決第 1 号	専決処分事項報告について （令和 2 年度千曲市一般会計補正予算（第 9 号））	◎
議案第 5 号	千曲市日本遺産センター条例制定について	◎

議案番号	件 名	結果
議案第32号	和解について※ ¹	◎
議案第33号	権利の放棄について※ ²	◎
議案第34号	副市長の選任について	×
議案第35号	人権擁護委員候補者の推薦について	◎
議会第 1 号	総合計画及び創生戦略に関する特別委員会の設置について	◎
議会第 2 号	千曲市議会会議規則の一部を改正する規則制定について	◎
議会第 3 号	議案第 20 号 令和 3 年度千曲市一般会計予算に関する附帯決議（案）	◎

※1…松田館の火災原因者との和解 ※2…和解に伴う損害賠償額の一部放棄

請願・陳情結果

番 号	請願・陳情の件名	請願・陳情の氏名	結果
請願第 5 号	千曲市公共施設再編計画の一部見直しを求める請願	森区長会 会長 近藤 公憲 外 13 名	趣旨採択
請願第 1 号	市民と通学生の安全のために長野電鉄跡地および農道の早期整備を求める請願	新日本婦人の会更埴支部 支部長 中條 悦子 外 1 名	採択
請願第 2 号	競輪場外車券売り場について経済産業省に許可をしないよう求める請願	千曲市場外車券売場誘致に反対する市民の会 世話人代表 宮坂 平	継続審査
陳情第 1 号	新型コロナ禍による米の需給悪化の改善と米価下落の歯止め策を求める陳情	農民運動長野県連合会 会長 竹上 一彦	趣旨採択

議案 … 35 件 請願・陳情 … 3 件 計 38 件

* 前回からの継続審査案件（請願第 5 号）1 件

賛否の分かれた議案等については市議会のホームページをご覧ください。



注目！

議案第20号 令和3年度千曲市一般会計予算の議定

～新型コロナウイルスワクチン接種関連事業3億2,215万円～

新型コロナウイルスワクチン接種関連事業の中には、ワクチン接種の予約、問い合わせなどに対応するコールセンターの設置、ワクチン接種体制の確保及び接種委託料などがあります。そのほか主な事業としては、あんず・雨宮統合保育園（仮称）整備事業、子育て支援事業、日本遺産推進事業などがあり令和3年度一般会計予算の総額は265億7,000万円です。



討論

討論とは、本会議や委員会で議題となっている案件について、議員個人として賛成・反対の意見を表示することを行います。表決をする前に、

議案第6号

○千曲市個人情報番号カードの利用に関する条例の一部を改正する条例制定について

反対

中村 恒彦 議員

千曲市内でこの2カ月間に、5件以上の特殊詐欺等の働きかけや実際の被害が起きている。昨年には1000万円を超える被害事件も起きた。今後、マイナンバーカードに健康保険証や運転免許証、そしてスマートフォンにマイナンバー機能を組み込むこともできるようにするなど、さらにその対象が広がっていく。様々な情報が集約されることにより、特殊詐欺だけでなく、国民が管理、監視されたり、個人情報为民間の経済活動（金儲け）のために利用されたりする危険性も指摘されている。

これらの懸念が払拭できない以上、千曲市が、マイナンバーカードの利用を拡充していくことに反対する。

議案第20号

○令和3年度千曲市一般会計予算の議定について

賛成

滝沢 清人 議員

小川市長は「新年度の市政経営は、市民感覚、民間感覚を大切に、市民生活や経済活動の回復を中心とし、新しい発想の市政とする」として、就任後初の当初予算案265億7000万円を計上、コロナ禍で大幅減の市税には、国の交付金を充当し、一般財源の総額は前年度同額程度を確保。主な事業は「あんず・雨宮統合保育園整備事業」に約4億9000万円、市道「一重山2号線」等整備事業に3億3000万円をあて、これまでの大型商業施設を核とした開発を見直し、次の時代環境に即した『新たなまちづくり』に取り組み姿勢を示した。小川市長を中心に多くの市民が納得するまちづくりへ、全職員あげて行政経営に当たることに期待して、本予算の議定に賛成する。

議案第21号

○令和3年度千曲市国民健康保険特別会計予算の議定について

反対

前田 きみ子 議員

令和3年度千曲市国民健康保険予算は、52億5900万円である。そのうち赤字補填として、一般会計から3億7600万円が繰り入れされている。国保の運営は、令和元年度から都道府県が加わった。広域化され3年目になり保険税は見直しの時期になる。長野県全体が保険税を統一しようとする国の政策に、国保運営協議会が今後の対応について話し合われることになっている。新型コロナウイルスにより、非正規労働者の雇用は不安定さを増し、生活が崩れて命が危ない状況にある。

そのための公助が必要であり、国保税を引き下げ払える額にし、保険証が失効しないようにすべきである。そのために議案第21号に反対する。

請願第5号

○千曲市公共施設再編計画の一部見直しを求める請願

賛成

林 慶太郎 議員

森地区のあんずの里観光会館の地元譲渡について、集会所という面においては、他の区・自治会との公平性の観点から現状を改善していく必要があると考える。しかし、観光施設という面においては、地元区より市長宛に、森地区全戸のうち97%、1913名の地元移管反対の署名が提出されるなど、あんずの里を守っていくために必要とされている拠点である。

地元の方々のあんずの里振興への思い・意欲という最も貴重な観光の財産を大切にしていくなめにも、計画どおり地元譲渡を進めるのではなく、観光施設としての維持管理も視野に含めたうえで、将来につながる前向きな協議を進めることを求め、本請願を採択すべきと考える。

「総合計画及び創生戦略に関する特別委員会」を設置！

3月市議会定例会の最終日において、議員からの提案により新たな特別委員会が設置されました。

議会第1号 提案説明

現在の「第二次千曲市総合計画 前期基本計画」の計画期間が令和3年度で終了となるが、新市長から令和4年度より「第二次千曲市総合計画 後期基本計画」にかわり、「第三次千曲市総合計画」を策定する方針が示された。

この計画は将来の千曲市の方向を示す最も重要な計画であり議決案件でもあることから、議会も市民の代表として計画策定には積極的に関わっていく必要がある。

さらに、「まち・ひと・しごと総合戦略」や「千曲市人口ビジョン」など新たな総合計画も密接に関わっており、事業の進捗状況などを見極めることも極めて重要である。

以上の理由から、「総合計画及び創生戦略に関する特別委員会」の設置を提案するものであります。

—採決結果—
全会一致で可決

特別委員会設置について

- 1 名 称 総合計画及び創生戦略に関する特別委員会
- 2 委員定数 19名（議長を除く全議員）
- 3 付託事項
 - (1) 千曲市総合計画基本構想に関すること。
 - (2) 千曲市総合計画基本計画に関すること。
 - (3) 千曲市人口ビジョンに関すること。
 - (4) 千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関すること。
 - (5) 長野市及び千曲市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約に関すること。
 - (6) その他これに関連すること。
- 4 期 間

本特別委員会は、付託事項について審査並びに調査が終了するまで、閉会中も継続して審査並びに調査することができる。



特別委員会は常任委員会と何が違う？
委員会には常任委員会と特別委員会があります。
常任委員会は、常時設置されている委員会です。
特別委員会は、複数の常任委員会にまたがる案件など特定の事件を審査するため、臨時に設置される委員会です。

請願第2号
○競輪場外車券売り場について経済産業省に許可をしないよう求める請願について、調査・研究が不十分である。設置を予定している企業の規模、営業内容など分からない。あまり交通の便が良くない。パチンコ店跡地に何故設置するのか、報道にある関係地区に献金として30万円〜100万円がなぜ支払われるのか、毎年なのか一時金なのかのような契約なのか分からない。関係部署が企業に対して市民に説明を求めたが応じていない。どのようにして地元住民の同意を得たのかも分からない。議会として意思を示すのであれば、しっかりと時間をかけて調査・研究を行い、改めて採決する必要がある継続審査を求める。

小玉 新市 議員

動議とは、本会議中ならいつでも発言することができ、議事修正、議事進行についての動議などがあります。

議員表彰

1月19日に開催された長野県市議会議長会第165回定期総会にて、正副議長の職にあって市政の振興と発展に尽くされた、荻原光太郎議員、小玉新市議員が表彰されました。

2月臨時会において和田英幸議長より表彰状の伝達が行われ、受賞者を代表して荻原光太郎議員が謝辞を述べられました。



▲2月臨時会で表彰を受けた2名の議員
(左から荻原議員、小玉議員)



◆◆ 建設経済常任委員会 ◆◆

委員会開催日：3月16日
議案8件、請願1件、陳情1件の審査と所管事項調査

○屋代地区大規模開発についての集中審議（所管事項調査）

問 屋代地区開発の主体はどこか

答 開発の主体は土地区画整理組合であり、企業誘致の最終的な決定は組合が判断する

問 「一重山2号線」の先行整備と4車線である理由は

答 屋代地区の開発と道路整備を切り離して考えた上で、「一重山2号線」は先線も含め、未来を見据えた基盤整備として進める。また、将来の通過交通の増加を想定し、2車線に付加車線を備えた道路構造を計画している

問 屋代地区の開発計画が進まなかった原因は何か

答 時代の変化とともに立地を模索していた企業が事業展開の見直しを迫られた結果、全国的な立地計画を下方修正した点が必要の一つと考える

○議案第20号 令和3年度千曲市一般会計予算の議定について

質疑終結後、本議案に対し、委員より「一重山2号線」等に関連した事業費、歳入歳出ともに3億3,300万円を減額する修正案が提出された

【討論】

原案に賛成 市の将来を見据えた重要な事業であり、議会・市民への情報公開を確実に行うことを前提に原案に賛成

修正案に賛成 行政と議会・市民の意思疎通がなく、乱暴な予算提案であるので、修正案に賛成。原案に反対

【採決結果】

賛成多数で原案を可決すべきものと決定
なお、屋代地区大規模開発の方針転換や一重山2号線の構想について、委員会への情報提供が著しく不足している点、市民への十分な説明がなされていない現状を踏まえ、今後関連する予算の適正な執行が行なわれるよう、議案第20号令和3年度千曲市一般会計予算に関する附帯決議（案）を提出することを委員会として決定した

委員会報告

◆◆ 総務文教常任委員会 ◆◆

委員会開催日：3月12日
議案6件の審査と所管事項調査

○議案第20号 令和3年度千曲市一般会計予算の議定について

問 市町村たばこ税の税収を昨年度より多く見込んでいるが理由は

答 たばこの本数自体は減少傾向にあるが、税率が改正されたため新年度はその影響で増えると見込んだ

問 来年度固定資産税が減収と市長の説明があったが、補填等はあるか

答 国より特別交付金として、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金11億4,500万円を計上した。新型コロナウイルスで影響を受けた中小企業等の家屋や償却資産の軽減に対する補填。軽減申請した分の100%が入ってくる

問 総務管理費中の財産管理費にある土壤改良委託料、水質検査等調査委託料の場所はどこか

答 稲荷山の旧第一学校給食センター跡地

問 情報化推進費の自治体クラウドシステム運用負担金が7,000万円を超えるが毎年の支払いが

答 市で支払うシステム使用料1年間分の経費。国が2025年までに自治体システムの標準化・共通化を推進している。昨年の秋より5年契約で塩尻市、中野市と共に3市で自治体クラウドシステム共同化を開始した。今後はさらにシステム経費の削減や事務の効率化を図っていききたい

問 市長の施政方針で令和10年度にスポーツ大会が千曲市で開催とあったが詳細は

答 国体が、全国スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会と名称が変更され県内で開催される。千曲市はハンドボール、新体操、ボッチャの3競技の開催が内定。今後は事業の普及啓発等を県と連携しながら進める

【採決結果】

賛成多数で可決すべきものと決定

◆◆ 福祉環境常任委員会 ◆◆

委員会開催日：3月15日
議案19件、請願1件の審査と所管事項調査

○議案第17号 令和2年度千曲市一般会計補正予算（第10号）の議定について

問 温泉施設指定管理委託料増額の理由は

答 新型コロナウイルスの影響で来場者数が減ったため、収入減の一部を補填する

【採決結果】

全会一致で可決すべきものと決定

○議案第20号 令和3年度千曲市一般会計予算の議定について

問 基幹相談支援センター設置委託料の詳細は

答 障害者のための相談支援窓口だが、利用数が増えており、前年度より嘱託職員1名を増やし、7名で対応する

問 環境活動推進委託料の詳細は

答 *レッドデータブックの活用事業や樹木診断、蛍の復活、トンボ観察会、自然観察会の開催などを各種団体に委託する費用

【採決結果】

全会一致で可決すべきものと決定

○請願第2号 競輪場外車券売り場について経済産業省に許可をしないよう求める請願

【採決結果】

地元の意向が不明である点などから、継続審査の意見があり、採決の結果、賛成少数で即日採決することに決し、続いて請願の採択について採決をした結果、賛成少数で不採択と決定

なお、委員会では不採択と決したが、3月19日の本会議で、審査不十分として継続審査とする動議が出され、採決の結果、賛成多数で継続審査とし、当委員会に再付託することに決定

※「レッドデータブック」…絶滅のおそれのある野生生物を世界的規模でリスト化し、その分布や生息状況を詳説した資料集。

附帯決議とは？

議案を議決するにあたって、議会の希望意見として付するものをいいます。法的な効果ではなく、政治的に尊重されるべきものとされています。

ワンポイント！

議会としての意見が、可否だけでは十分に表明し尽くせない場合、議案等を議決するにあたり、あわせて附帯決議を議決して、事実上議会の意思を表明しておく取り扱いがなされています。



市議会による『市民と語る会』がスタート

千曲市議会が市内9小学校区を巡って、地域の課題などをお聴きします。
1月に開催された2会場で出された主なご意見は以下のとおりです。

◎これまでの開催内容

1月15日（金） 東小学校区

- ・あんずの里観光会館の今後について
- ・「あんずの里」維持・発展について
- ・観龍寺の修繕について
- ・市内寺院の活用について
- ・土口水門の防災について etc

1月28日（木） 上山田小学校区

- ・上山田戸倉市民窓口について
- ・公民館使用料について
- ・屋代地区大規模開発事業について
- ・戸倉上山田温泉将来ビジョンについて
- ・日本遺産のビジョンについて etc

★詳細は市議会ホームページをご覧ください。



▲あんずの里観光会館



▲千曲市総合観光会館

『市民と語る会』日程

月 日	時 間	小学校区	場 所
第1回 1月15日（金）	18：00～19：30	東小学校区	あんずの里観光会館
第2回 1月28日（木）	18：00～19：30	上山田小学校区	総合観光会館
第3回 4月 9日（金）	18：00～19：30	戸倉小学校区	戸倉創造館
第4回 4月15日（木）	18：00～19：30	更級小学校区	更級児童館
第5回 4月23日（金）	18：00～19：30	五加小学校区	千本柳公民館
第6回 5月 6日（木）	18：00～19：30	治田小学校区	稲荷山公民館
第7回 5月14日（金）	18：00～19：30	八幡小学校区	八幡公民館
第8回 5月21日（金）	18：00～19：30	埴生小学校区	埴生公民館
第9回 5月27日（木）	18：00～19：30	屋代小学校区	屋代公民館

●議員活動●

コロナ禍により、現在視察等を自粛しております。

1/26 商工団体との懇談会

建設経済常任委員会では、千曲商工会議所、戸倉上山田商工会との懇談会を開催しました。
懇談会では、コロナ禍における千曲市の経済状況と今後の地域経済活性化策について活発な意見交換が行われました。



1/27 議員研修会

「議会の機能発揮と委員会活動のあり方」元全国都道府県議会議長会議事調査部長の鵜沼信二氏を講師に迎え、オンラインによる議員研修会を開催しました。
研修会では、地方議会の本質的な役割や委員会制度の目的、また、議会の機能発揮のための委員会活動の在り方について丁寧にご説明いただきました。



2/15 男女共同参画勉強会

福祉環境常任委員会では、男女共同参画に関する知識を深めるため千曲市男女共同参画推進連絡協議会と合同でオンラインによる勉強会を開催しました。
「陳情アクション信州」の吉澤茉帆氏、森田久美子氏、金澤みち代氏らの3氏が講師となり、自分が生まれ持った姓を使い続けたい方たちのお話、結婚後も旧姓を使うことが選択できる「選択的夫婦別姓」の動きなどをお聞きしました。



問 所信表明で「これまでの旧態依然とした前例主義・権威主義で既得権を守るのではなく戦略的にスピード感を持って対応していく」と明言したが具体的な説明を。

答 市民の声に耳を傾け、「ようこそ市長室」の日程倍増（半日から1日）、庁舎1階に「市政へのご意見コーナー」の設置、新年度から「市民の声を聴く会」を開催して意見を聴く。大型商業施設の見直し、旧上山田庁舎に「上山田戸倉市民窓口」の新設。日本遺産推進室、行政マネジメント室の新設など組織機構を新しい発想で実現できた。

問 顧問の設置については市長の執行権で行うとしたが議会に議案として上程しなかった理由は。

答 地方公務員法第3条第3項第3号「非常勤の顧問、参与等は任命権者又はその委任を受けた者の指揮監督下で行われる事務」で市長の人事権の範疇いわゆる専決事項であるため議案上程を必要としない。

問 市民からどんな意見があったか。



一志会
代表 小玉 新市

小川市長の所信表明、 施政方針から

答 賛否両論。新しい民間感覚のアイデアが加わることは重要だ、財政が厳しい状況下で税金を使って新たな人材をなぜ登用するのかなど半々であった。

問 なぜ若狭氏を選んだのか。

答 千曲市を良くする志をもって市長選に臨もうとした熱い思い、商工会議所若手会員から支援を得ているため産業の活性化に寄与できる。全国の自治体で活躍しており様々な提言をいただき政策上のブレーンのような人材と考えたが、本人には理解を得て見送った。



▲市民の声を大切に市政を運営していくと
小川市長

問 当初予算と補正予算について。

答 令和3年度当初予算（案）として265億7000万円が計上され、国の令和2年度第3次補正予算に伴い補正し、次年度へ繰り越す「令和2年度第9号補正予算」（1億8000万円）と「第10号補正予算」（500万円）を合わせ、実質的には268億65万円となる。

問 歳入のうち市税の大幅ダウンは。

答 市税については前年度74億円に対し、15億7000万円減収で、58億3000万円になる。主な原因は、新型コロナウイルス感染症の影響で事業収入が減少している事業者に対する国の制度による固定資産税・都市計画税の減免額11億4500万円によるもの。これについては国からの特別交付金として全額補てんされるので、この減免を除く市税の実際の減収額は4億円程度になる。更に4億円の減収は普通交付税の「財源保障機能」により75%（約3億円）が補てんされるので、最終的には市税の減収額は1億円程度となる。



新政クラブ
代表 中村 眞一

令和3年度予算と 市税の減収は

問 歳出の「スクラップ&ビルド」は。

答 予算編成に当たっては、市税が減収となることから予算編成方針において「経常経費（行政サービス事業）の要求額を前年対比95%以下に抑える」ことにした。今後の財政状況をみても少子高齢化により収入が減少するなかで扶助費（福祉関係）が増加し、公債費（借入金ほか）も合併特例事業債の償還がしばらく続くので、政策決定・事業実施に当たっては「選択と集中」により費用対効果等を見極めていく。



▶令和3年度千曲市当初予算

一般質問（代表）

会派を代表して
市長に問う！

日程	掲載頁	氏 名	通 告 事 項
3月8日(月)	13	一志会 代表 小玉 新市	1 所信表明・施政方針より 2 新型コロナウイルスについて 3 経済対策について 4 シティプロモーション 5 住民自治について
	13	新政クラブ 代表 中村 眞一	1 令和3年度施政方針について 2 令和3年度重点政策の「令和元年東日本台風からの復旧・復興」 3 新型コロナウイルス感染症対策 4 産業振興策 5 令和3年度予算面
	14	千風の会 代表 金井 文彦	1 市政運営における小川市長の基本姿勢と目論見とは 2 令和3年度当初予算案と重点施策について 3 千曲市の入札制度について 4 地域間格差をどの様に考えるか
3月9日(火)	14	自由民主クラブ 代表 荻原光太郎	1 小川市政の情報発信と政策決定方法について 2 施政方針の令和3年度重点施策について 3 令和3年度主な施策について 4 G I G Aスクール構想について 5 小川市政への期待と不安が交錯している
	15	日本共産党千曲市議団 代表 前田きみ子	1 重点施策について 2 今後の千曲市は 3 S D G sについて 4 社会保障について
	15	公明党 代表 柳澤眞由美	1 施政方針について 2 第三次総合計画について

問 世界経済フォーラムがジェンダーギャップ指数を公表、日本は153カ国中121位であった。当市の目標値は40%であるが、市職員の管理職に占める割合は10.4%、審議会の女性参画率は27.6%である。市の見解と推進は。

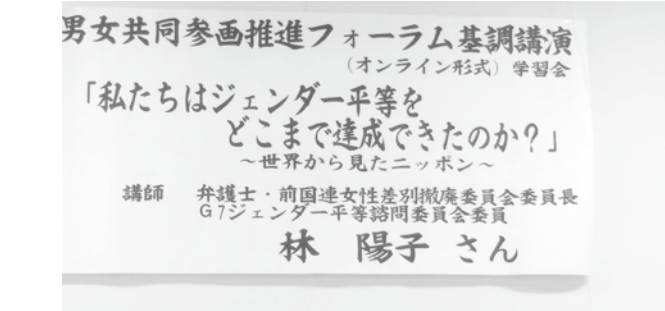
答 目標値の40%達成に向けてセミナーを開催し令和3年度から第4次千曲市男女共同参画計画においても、積極的に女性の参画率の向上に取り組む。

問 令和10年度に国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会が長野県で開催される。観光バリアフリーの推進は。

答 新設の公共施設は、バリアフリー化に対応しており、既存施設では改修できるところから改修に努めている。民間施設では国、県等の様々な補助事業があるので、積極的に情報発信していく。

問 21世紀初めまで、世界の農業、食料の流れは小規模家族農業を時代遅れと決めつけ農業を工業化、化学肥料の使用を増加させ効率的生産に主眼を置いてきた。

「国際家族農業年10年」が国連で



▲人権・男女共同参画課主催のジェンダー平等の学習会

※ジェンダーギャップ指数…各国の男女格差を示す指数



日本共産党千曲市議団代表 前田きみ子

ジェンダー、観光バリアフリー、農業は

決 議された。市の家族農業は。認定農業者や、中核的農家等の担い手利用集積率は約25%で、耕作放棄地を増やさないため、市の食料自給率向上のためにも、中小規模農家に、農業機械購入支援や定年帰農者の支援を検討する。

問 国保の資産割りは。

答 令和4年度までに廃止する方向で準備する。

問 「復興計画に掲げた各事業を着実に進める」という重点施策について、水害リスクは避けられない千曲市の地形、水害リスクをふまえた都市像が求められている。防災・減災のまちづくりについて市長のビジョンと覚悟は。

答 千曲川の東西に市街地が形成され、人口の7割が居住している状況だ。リスクに対処するには、信濃川水系緊急治水対策プロジェクトを計画通り推進し、千曲川の脅威を取り除くことが最も重要と考える。さらに、マイタイムラインなど市民の防災意識向上や避難訓練の充実も進める。加えて、水没するリスクの少ない適地に総合的な防災の拠点を整備し、日常的に安全安心が得られることができれば、リスクをふまえた新たな千曲市になると思う。

問 文化の質の向上、明るい図書館、避難場所にもなり得る更埴図書館改革を。

答 図書館の災害拠点化、大規模改修や移転について、全面改築する際に研究する。

問 市民の負担に応えられるよう、



▲新しい千曲市、水害リスクをふまえたまちづくりを

組 織改編・組織機構見直しは時宜にならなっている。長年、子ども行政の一元化を提案してきたが、例えば教育委員会に「子ども課」を設置することについて所見を伺う。

答 県では4月「こども若者局」を新設する。県内6市で、ご提案の教育委員会で子ども関連行政全般を取り扱っている。市では関連部署が連携しサポートしてきている。第三次総合計画策定をふまえ、他市の状況を参考に来年度から検討する。



公明党代表 柳澤眞由美

小川市長の令和3年度施政方針を問う

問 令和3年度施政方針及び当初予算案を見ると、これまでの施策の継承が色濃く、小川カラーが感じ取れない。市長が優先させた予算は何か。

答 「ワクチン接種事業」や、コロナ禍で疲弊した社会への支援策としての「赤ちゃん応援特別給付金」等、市民の命と財産を守る施策を優先した。

問 自主財源涵養に向けた投資的経費の計上について手薄感が拭えない。市長の市政への将来展望を伺う。

答 将来の市税増収に向け、雨宮・八幡東の産業団地に加え、屋代地区開発における「二重山2号線」等、企業誘致のための基盤整備を進める。市政の将来展望は「入るを量りて出ずるを為す」を基本に健全財政を堅持していく。

問 「マイタイムライン」に加え、「地区防災計画」作成の手順は。

答 作成を全ての区・自治会で取り組めるよう、改訂したハザードマップの活用、作成マニュアルの配布、職員派遣による作成相談などの支援を行う。



▲公共施設再編は地域住民との十分な対話を図り進めるべきである

問 最近、地域間の格差や施策の集中を問題視する声が多く聞かれる。公共施設再編を進める中、この傾向はさらに助長され、地域間の分断が加速する懸念があるが、どのように考えるか。また、地域間格差解消についても伺う。

答 職員が地域に向き、市民との対話により皆さんの声を広く聞く中で、行政と地域との信頼関係を築きながらまちづくりを進めることが重要と考える。

【その他の質問事項】

○郷土愛を育む教育について

○信州ブレイブウォリアーズについて

○入札制度についてなど



千風の会代表 金井 文彦

小川市長の施政方針と新たな課題

問 上山田戸倉市民窓口について。

答 市民窓口での業務量を勘案し、部課長の意見も聞く中で体制を検討した。今できうる限りの対応をした。

問 屋代地区大規模開発の見直しとは。

答 大型商業施設を核とした開発を見直し、幅広い産業や文化が集積し、市内外から人が集うことで千曲市全域や広域全体の活性化につなげる。

問 稼げる施設とは。

答 市民、議会とともに新しい開発計画を作る中で、地元食材を活用する食と農のテーマパークを例示したい。

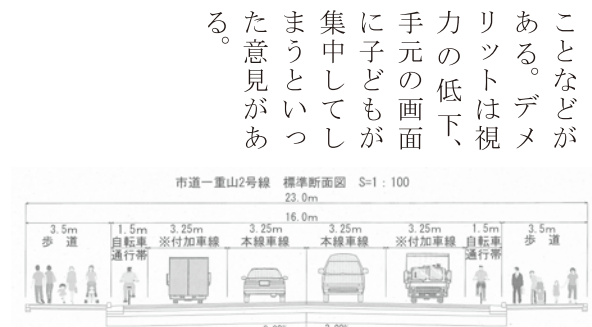
問 宅地開発の可能性はあるか。

答 令和7年以降、土地改良法の開発規制が解消されると可能性はある。

問 一重山2号線は4車線が必要か。

答 屋代スマートインター（仮称）や産業拠点からの車両出入りを円滑にし、渋滞等の発生を軽減させるため、付加車線を設ける。

問 市独自の観光誘客事業はないのか。



▲付加車線は、沿道施設・スマートIC等の出入車両を円滑に誘導し、本線への影響を軽減させることが目的

問 誘客事業は、広域で経済循環に繋がる対応をしたい。

答 宿泊補助は、東日本台風の際の「ふっこう割」のようなものを国の交付金により検討する。

問 GIGAスクール構想のデジタル教科書のメリット、デメリットは何か。

答 メリットは、画面に書き込み、消去ややり直しが容易である。ペーパーグループ学習の際、内容を見せ合うことで効果的、対話的な学習ができることなどがある。デメリットは視力の低下、手元の画面に子どもが集中してしまうといった意見がある。



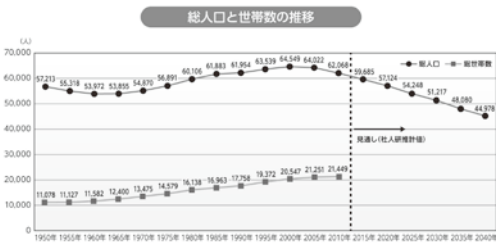
自由民主クラブ代表 荻原光太郎

小川市政への期待と不安が交錯している

問 人口減少に歯止めをかけたいなかで、当市が転入超過になっている要因は何か。さらに社会増が続くための方策、定住環境を整える取り組みはどうか。

答 通勤などの交通の利便性や地価の安さなどで、宅地造成が増加し転入者が増えている。特に千曲線の開通により商業施設が集積し、利便性と住環境の向上によるもの、それに加え「移住・定住」「子育て支援」や「福祉」「健康増進事業」などさまざまな支援事業に取り組んできたことが要因。社会増については、引き続き総合戦略事業を着実に進めるとともに、第三次千曲市総合計画の中で、さらに効果的な戦略事業を検討していく。定住環境は、住み続けたいと思える魅力ある生活環境や持続可能な行政サービスを目指して取り組みに努める。

問 コロナ禍によりテレワークが実施され、結果都内で暮らす人が違う場所に引っ越したいとのこと。その転入者獲得のために何をして行くべきか。また当市を選んでもらうためにどうすべきか。



▲人口減少に歯止めをかけなくてはならない

※ライフステージ…人間の一生における幼年期、児童期、青年期、壮年期、老年期などのそれぞれの段階



飯島 孝

人口の転入超過を続けるためには

答 県や連携中枢都市と連携し、千曲市の魅力を市外・県外に発信し、市内のテレワーク環境の整備、企業への支援をし、企業誘致・移住・定住に繋げる。また首都圏の住民が移住先に求めるニーズを年齢やライフステージごとに把握分析し、当市の誇れる自然、文化、歴史などの魅力を発信、働く場所の創出や地域おこしで選ばれるまににする。

【その他の質問】

○用途地域の見直しについて

○高齢者の増加に伴う事故の現状から



滝沢 清人

絆を繋ぐ奇跡のケア手法 ユマニチュード

問 フランス生まれの認知症ケア技法で、「人間らしさの回復」を可能にする哲学的手法「ユマニチュード」を、介護者が学び自信をもって家族のケアができる「学習ツール」を作成すべき。

答 ユマニチュードは、ケアされる人に対し「見る」「話す」「触れる」「立つ」という人間の特性に働きかけるケア技法で、介護者の心構えとして大切な技法であり、必要に応じて何らかの形で紹介するなどしたい。

問 千曲川河川敷を市民などが楽しめる「憩いの場」オープンスペースとして活用するために、広く市民・事業者から意見・提案を求めるべきだ。

答 河川空間のオープン化は、河川敷地占用許可準則が改正され、一定要件を満たす民間事業者や団体も、河川敷地の利用が可能となった。水辺のオープンカフェやバーベキュー、イベント開催など、市民の憩いの場、観光誘客が見込める水辺の自然空間としての利活用を行政も積極的に支援する。

5月配布の新防災ガイドブック



▲ユマニチュードは穏やかな暮らしを取戻す

を活かし、大水害に備え大型避難所や防災拠点となる「防災公園」の整備を。

災害時に要配慮者を確実に避難させる個別避難計画・福祉避難所の充実を。

答 市民の命を最優先に守り抜くことが行政の第一の責務、そのための防災拠点や大規模避難所の確保は重要である。新年度において具体的な場所、規模・内容について提示したい。

本年春に内閣府が示す「福祉避難所の確保運営ガイドライン」に沿って、福祉と防災が連携し「個別避難計画」の作成と福祉避難所の充実を図る。

一般質問(個人)

10名が
市政を問う!

日程	掲載頁	氏 名	通 告 事 項
3月10日(水)	17	飯島 孝 (千風の会)	1 人口の転入超過を続けるには 2 高齢者運転時代について
	17	滝沢 清人 (公明党)	1 コロナ禍で社会的孤立が一層深刻に、対策を急ぐべき 2 認知症ケア技法「ユマニチュード」を分かり易く普及すべき 3 「行政のデジタル化」DXの着実な推進を 4 千曲川河川敷を市民などが楽しめる「憩いの場」に活用すべき 5 「新防災ガイドブック」を活かし、気候変動へ危機管理対応の前進を
	18	聖澤 多貴雄 (千風の会)	1 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトについて 2 災害時の官民を超えたネットワーク作りの意義について 3 屋代南高校存続について
	18	倉島 さやか (無会派)	1 主権者教育について 2 長野電鉄屋代線跡地整備事業について 3 雨宮三地区道路環境整備について 4 デジタル化推進について
	19	吉池 明彦 (一志会)	1 「コロナ禍に対する各種支援策」について 2 「第5次行政改革」「方針管理」「情報管理」について 3 「令和3年度予算と施政方針」及び「財政健全化」について
3月11日(木)	19	中村 恒彦 (日本共産党千曲市議団)	1 ごみの出し方について 2 教育問題について 3 地球温暖化対策について
	20	川嶋 敬信 (一志会)	1 安全・安心を目に見える形に 2 千曲市の行政改革について 3 屋代地区大型商業施設誘致について
	20	宮下 繁明 (一志会)	1 小川市長の「公約」と「施政方針」 2 地域格差の解消について 3 屋代地区開発計画についての小川市長の真意は
	21	北川原 晃 (新政クラブ)	1 組織改正について 2 道の駅について 3 屋代地区土地区画整理事業について
	21	袖山 廣雄 (新政クラブ)	1 資源の活用施策による市の活性化について 2 地域おこし協力隊について



聖澤 多貴雄

遊水地・河道掘削・ 高校再編問題

問 遊水地・河道掘削について各計画の進捗状況を問う。

答 遊水地については地権者の皆さんへ丁寧な説明を心掛け、地役権補償方式、用地買収方式を念頭に令和6年度の完成を目指す。遊水地の周囲堤と東林坊川に背割堤を設けることで千曲川の水が回り込む影響を少なくし19号台風と同規模の洪水が発生しても市街地への流入を防ぐことができる。河道掘削も下流域より始め堤防強化と共に令和9年度の完成を目指す。

問 災害時の官民を越えたネットワーク作りの意義について。

答 社協を中心にボランティアの受け入れ、NPOや日赤など42団体と災害応援協定を締結し今後も官民を越えた強いネットワーク作り、連携強化に努めていく。

問 高校再編にあたり屋代南高校存続について基本的な考え方を問う。

答 平成30年県会・県教委に請願陳情した内容の趣旨に沿い、多部制単位制のような学びのスタイルはぜひ必要と考え千曲市内への配置を強く要望していく。



▲高校再編屋代南高校

問 新しい多部制単位制高校について、

①進学特進コースを設ける。
②屋代南高校の核というべきライフデザイン科は企業と連携してDuaiシステムを導入しさらに発展させる。

③情報・デジタル・福祉・芸術系コースの設置。

答 千曲市としては、多様な生徒のためにも、普通科を基本とする多部制単位制高校のような学びのスタイルはぜひ必要と考え、魅力的なものになると考えている。



吉池 明彦

的確で有効な支援策 小川市政が始動する

問 市は、国・県の補完となる支援が必要。厳しい観光事業に向け「キャッシュバックキャンペーン」「地域共通宿泊クーポン」を、また生活困窮者には「生活支援金」を早急に。

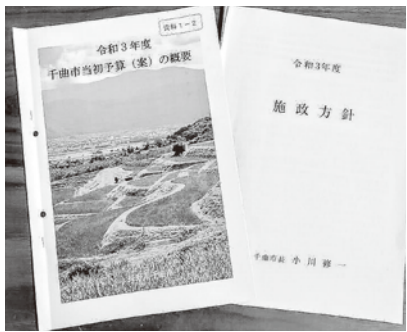
答 新型コロナウイルスの感染拡大防止と国・県の支援策の動向を確認・注視しながら、市でも切れ目のない支援策を検討していく。また、上田市とも連携していく。

問 行政改革の「人材育成と能力開発」は、今後も重要課題ではないか。

答 部課長のマネジメント力強化や若手職員の意欲や資質向上に、様々な機会を活用し、個人と組織の能力向上に努め、市民サービスの向上に繋げる。

問 「方針管理」と「情報管理」を徹底し、市民に正しく分かりやすい説明と情報を伝えるべきではないか。

答 最上位計画である総合計画を施政方針で示し、経営会議で展開する。進捗や達成状況は、行政評価から評価・改善を図っている。情報管理は、しっかりとすみ分けし誤解等に注意する。



▲「千曲市を変える！」市民期待の「小川市政」が始動する！

問 来年度予算は、経済回復に力を入れ、大型投資は総合計画で見直しが必要。特にやり遂げたい施策は。

答 産業連携道路ネットワークは、現状及び将来への投資として進める。また、子育て支援事業と賑わいの街の創出にも力を入れる。

問 財政指標は、類似の市と比較すると全般に悪いが、健全化への道筋は。

答 経費節減については、数値目標を明確に、開発事業は費用対効果とリスクを考慮、観光業界支援は補正予算を検討し、市税の増加に繋げたい。



倉島 さやか

令和3年度新規事業 について

問 長野電鉄屋代線跡地整備事業について、測量の予算が付き事業化される。今後の予定について。

答 地元の意向を踏まえ、屋代小学校、屋代中学校の児童・生徒の通学路としての機能も期待できる区間として約700メートルを自転車・歩行者専用道路として整備していく。財源は国の防災・安全交付金を予定している。

問 雨宮3地区の安全な道路環境整備について。雨宮産業団地、統合保育園の工事が始まり、交通の動線が変化している。3地区区長、小学校、保護者連名で、信号設置の要望も上がっている。市として

も今からできる対策をとるべき。

答 それぞれが完成し本格的に稼働した時には、交通の流れは大きく変化するものと考ええる。信号機の設置については、警察署からは設置は困難との回答があった。しかし、安全に使用できる道路環境となるよう、効果的な対策について研究していく。

問 主権者教育について、教育委員会と選管との連携、選挙人に同伴する子どもの範囲拡大の改正な

どの周知等、取り組みについては。

答 現在の取り組みの一層の充実を図り、自分と社会、政治との関わりを深める事が投票率の向上に繋がると考える。保護者にも周知を図る。

問 行政業務のデジタル化、小中学生のタブレット支援員等、デジタル人材の確保が早急に必要である。対策は。

答 デジタル人材の確保は必要である。早急に対応していく。



▶行政業務のデジタル化改革について、全国の若手議員でオンライン研修



中村 恒彦

ごみ袋購入チケットを 廃止できないか

問 ごみ袋購入チケット制度に要する市の費用と追加購入者への売り上げの金額は。ごみ袋1枚につき40円負担しているので、「チケット」がなくてもごみ減量化に協力している」「チケットがないと買いたいときに買えない」「紛失して困った」など、多くの市民が疑問を感じている。廃止できないか。

答 印刷と郵送料で約190万円に対し、売り上げは250万円。廃止はゴミ減量等推進員や市の環境審議会の意見を聞きながら、新年度検討を進める。

問 時間外勤務が増加する小中学校に1年単位の変形労働時間制の導入が県外で始まっているが、教育現場にはなじまないのでは導入すべきではない。

答 忙しい時期に勤務時間を延長して閑散期に勤務時間を短くする仕組みで、検討すべき課題があることは承知している。時間外勤務縮減には、来年度から給食費の徴収事務を給食センターで行うことをはじめ、勤務の割り振りの実施状況等現場の状況をとらえながら対応していく。



▲ごみ袋購入チケットの廃止を

問 ICT教育は性急に進めず、条件整備と十分な支援員の配置を。端末の家庭への持ち帰りでは子どもへの悪影響を心配する声があるが対策は。

答 教職員の研修、ICT支援員の充実を図る。悪影響はフィルタリングや接続時間帯の制御を考えている。

【その他の質問】
○蓄電池システムだけでなく、他の自然エネルギー利用に対する補助も。



川嶋 敬信

屋代地区大型商業施設誘致について

問 先日の新聞報道では誘致断念とあり、今議会では断念したわけではないと答弁された。市内の事業者に対する配慮、市民への情報提供について市長はどのような対応をするのか。

答 屋代地区の「新たなまちづくり」では「市民の皆様と創る」を基本に据え、引き続き情報提供に努めるとともに市民や事業者等それぞれのお立場からのご意見に真摯に耳を傾けながら進めていきたい。

問 埴生小学校通学路の鑄物師屋から打沢にかけての市道は、幅が広くなったり狭くなったりのため、農業用水が脇を流れており、非常に危険な状態のため安全な道づくりについて、市はどのような対応をするのか。

答 道路の利便性と農業用水路の役割を地域の皆さんと調整しながら、どのような道路が地域に必要なか令和3年度を目途に総合的に検討を進めていきたい。

問 屋代駅市民ギャラリー条例を改正し物販・飲食等を可能にしてはどうか。また、ウェルカムステーションとの一体運用は考えているか。

答 「市民ギャラリー活用検討会議」で条例改正や管理・運営の委託などについて検討している。今後、利用者など関係者のご意見を踏まえ、令和3年度中には新たな活用方法を確定する。

問 犯罪被害者等支援条例の制定を求めるが、市長の考えは。

答 市民の犯罪被害者支援に対する意識の高揚や自治体による「きめ細やかな支援」の重要性を感じており、今後他の自治体の動向を注視し検討する。



▲古墳館から見た一重山2号線予定地



北川原 晃

計画は見直され「新たなまちづくり」に

問 大型商業施設を核とした屋代地区の開発計画は「実現が厳しい」として見直したが、大型商業施設の誘致が進まなかった要因は。

答 開発予定地は農振農用地に指定され、「規制の除外」や都市計画道路等の「基盤整備」が不可欠である。また「用途地域の設定」や、「埋蔵文化財の発掘調査」なども大きな課題である。

そうした課題に加え、進出企業側にも景気の低迷やインターネット取引の増加、コロナ禍の影響が追い打ちをかけ、消費の減退により進出計画を全国的にも見直す傾向が見られたことも要因である。

問 市長の「新たなまちづくり」に取り組み決意について。

答 幅広い産業や文化が集積し、市内外からあらゆる年代の人が集い、親しまれ、千曲市全域や広域の活性化につながるようなまちづくりに転換する。具体的な計画は市民の声も聞きながら新年度中に方向を固めスピード感を持って進めていく。

問 全国的に自然災害が頻発するなか、国交省は「社会資本整備総



▲屋代開発地区を南北に縦断する「市道一重山2号線」
(Aコープあんず店～県立歴史館)

合交付金制度」を設け、地域の防災拠点となる「防災道の駅」を推進し財政支援もしている。本市の今後の取り組みは。

答 安全安心な大規模避難所の確保は「市民の命を守る」ため重要な施策である。

新年度から新たなハザードマップ等を活用し、具体的な場所、規模、内容等が示せるよう取り組んでいく。



宮下 繁明

上山田市民窓口開設 住民自治組織導入を

問 4月より市民窓口が開設されるが、地元の要望からは程遠く不十分な内容である。機能が少ないと利用者は限られてしまう。市民が必要とする行政サービスを受けられる窓口にするべきではないか。令和6年から全市で設置する住民自治組織を上山田小学校区で先行して取り入れる考えはないか。

答 市民窓口は今の財政状況、職員体制等から出来る限りの対応。今後はオンラインやリモート等を活用するなど検討してゆく。住民自治組織については新年度からモデル地区の選定も含めて準備を進めていく。

問 上山田の力石地区は令和元年東日本台風で甚大な被害が発生したが、市の被害調査や復興計画に全く記載が無いのはなぜか。今後の防災対策のために被害の記録を残すべきではないか。

答 調査は霞堤や本堤防からの越水に対するもので力石の浸水については対象外。今後は職員の配置等地域と行政が一体となった防災対策を進めていく。

問 大型商業施設開発計画について



▲力石地区では東日本台風で住宅や農業用ビニールハウスに大きな被害が発生した

て市長は見直しを表明したが、情報公開は不十分。市長はイオンのトップと直接話したのか。今まで5年間の誘致活動を総括して説明会を開き市民の声を聞く考えはないか。進出企業も、スマートICも決まらない現状では、企業側の要望で4車線となった道路の建設計画を見直すべきではないか。

答 企業の開発担当部長と懇談したうえで実現困難と判断したが、企業誘致は継続するので総括は今のところ予定していない。開発は将来の市の財源確保のためであり道路建設は先行して進める。



袖山 廣雄

棚田展望駐車場設置の必要性について

問 展望駐車場設置計画の進捗状況は。

答 平成29年の県知事と棚田保全団体の懇談を受けて、来訪者を展望の良い所へ案内できる施設として計画が提案され、現在実施設計まで進んでいる。

問 重要文化的景観指定地内の設置計画であり、手続き上問題は無いのか。

答 指定地内で、棚田整備委員会等に事前説明が必要であったが関係機関との合意形成に時間を要している。真摯に反省し、理解をいただく努力をする。

問 展望駐車場予定地は、姨捨SIC・姨捨駅・国道403号線を控え、戸倉上山田温泉方面への西の玄関口として、車の流入が多い。道路沿いで、トイレ・物販・飲食等施設があり、ちよっと寄れる展望駐車場は、棚田と周辺の魅力を発信できる。日本遺産認定の事業目的である地域文化財を活用して人の交流を増やし観光振興を行い地域の活性化を図る事業として捉えて進めるべきだ。

答 棚田耕作と観光振興との両立



▲姨捨棚田展望駐車場（ビュースポット）計画地箇所

答 1人を内定している。地域活性化につながるよう市としてしっかり支援していく。

問 地域おこし協力隊員が現在不在だが、棚田保全事業のためにも増員を。

のためにも、重要性を認識し、スピード感を持って進める。トイレ等附帯施設は市で設置を進める方向であるが、景観等考慮し協議する。あわせて提案の親孝行地蔵設置等のアイデアなど話題づくりについては協議していく。また日本遺産推進室を設置し、部局連携の司令塔として更なる棚田周辺の課題解決や振興に努める。

議会日誌

12月定例会終了後から3月定例会までの議会活動の紹介です。

12月

24日 総務文教常任委員会

1月

7日 議会広報特別委員会
14日 議会広報特別委員会
19日 長野県市議会議長会総会
22日 総務文教常任委員会
25日 東北信9市議会正副議長会（書面会議）
26日 建設経済常任委員会
27日 議員研修会
議会運営委員会
28日 長野広域連合議会運営委員会
29日 福祉環境常任委員会

2月

1日 千曲坂城消防組合議会全員協議会
3日 議会運営委員会
令和3年第1回（2月）千曲市議会臨時会
5日 長野広域連合議会定例会
9日 六ヶ郷用水組合議会定例会
10日 総務文教常任委員会

2月

17日 議会全員協議会
18日 葛尾組合議会定例会
19日 千曲衛生施設組合議会定例会
22日 議会運営委員会
議会広報特別委員会
24日 千曲坂城消防組合議会定例会

3月

1日 議会全員協議会
令和3年第2回（3月）千曲市議会定例会
開会
8日 議会運営委員会
一般質問（代表）
9日 一般質問（代表）
議会全員協議会
10日 一般質問（個人）
11日 一般質問（個人）・議案審議
12日 総務文教常任委員会
15日 福祉環境常任委員会
16日 建設経済常任委員会
19日 議会運営委員会
令和3年第2回（3月）千曲市議会定例会
閉会



6月定例会予定

【6月】

7日	(月)	本会議	開会
14日	(月)	本会議	一般質問（個人）
15日	(火)	本会議	一般質問（個人）
16日	(水)	本会議	一般質問（個人） 議案審議
17日	(木)	委員会	総務文教常任委員会
18日	(金)	委員会	福祉環境常任委員会
21日	(月)	委員会	建設経済常任委員会
24日	(木)	本会議	委員長報告・討論 採決・閉会

議会を傍聴してみませんか

どなたでも傍聴できます。傍聴人受付簿に住所・氏名・連絡先を記入し入場してください。

※新型コロナウイルス感染症予防の観点から感染拡大防止対策を実施しております。詳しくは、市議会のホームページをご覧ください。



※議事の都合により、日程が変更される場合がありますのでご了承ください。

今月号の表紙は……

あんずの里から遥かアルプスを望む

昨年は新型コロナで開催できなかった「あんずまつり」ですが、今年は3月27日から「第66回あんずまつり」として開催、森地区と倉科地区のあんずの里はなだらかな傾斜地一面にあんずの花が咲き誇り、春の暖かな日差しに包まれて連日多くのマスクをしたお客様で賑わいました。表紙の写真は4月1日、上平展望台から大光寺へ登る道を途中から左に下った静かな農道で撮りました。今年は花が早くあんずも桜も同時に咲き、あんずは5日には散ってしまいました。また6月の「あんず狩り」で美味しい実もお楽しみに。



市民の声



坂口 吉一さん
(中)

誰もが夢をもてる 街づくりを

市民生活はまだまだコロナ禍で苦しい状況が続いています。が、肝心の市政は人事案件などで足元が定まらないように感じています。行政と議会は車の両輪です。市長や市議会議員の皆様には、自らの任期中だけではない長期ビジョンを明確に示し、市民のお金を大切に、しっかりと計画性のある街づくりを進めていただきたいと思っています。

今年度には、千曲市の新しい総合計画がつくられると聞きました。市民参加型の策定プロセスにより、誰にとってもわかりやすく、1市2町の一体感が深まり、市民が夢を見られるような長期ビジョンが描ければと思います。



坂本 公美さん
(上山田)

日本遺産を活かそう

姨捨とその周辺地域一帯が日本遺産というお墨付きをいただきましたが、今一つ盛り上がりを感じられません。

それではどうすればよいかわかる、次のようなことが思い当たります。

まず、地域や学校で当地の歴史、伝統行事、文芸、古人の暮らしの知恵等を学び、郷土を誇りに思うマインドづくりが必要です。そして道路表記の工夫、文化財の説明の多言語化、交通・宿泊施設の整備、周辺観光地との連携等の訪問者に対する気配りが必要です。

様々なチャレンジをしてみましよう。きっと、千曲市のブランド力が高まります。

「議会・市政に関する」として「テーマ」に寄稿いただきました。

議会だよりについてのご意見をお寄せください

『みんなの議会』のさらなる充実をめざし、広く皆さまの意見を募集します！
お気軽にご意見をお寄せください。



■記入事項

①住所 ②氏名 ③議会だよりへのご意見

■提出方法

上記事項を記入し、ハガキ、メール、ファックスによりお送りください。

■宛先

〒387-8511 千曲市杭瀬下二丁目1番地
千曲市議会 議会広報特別委員会
E-mail : gikai@city.chikuma.lg.jp
FAX : 026-272-0765

編集後記

3月議会は、昨年12月の所信表明に次いで市長の施政方針で開会しました。令和3年度予算審議を経て、本格的に小川市政が始動します。

未曾有の「コロナ禍」が環境も我々の意識も変えました。

新たな千曲市の足跡を議会報で、分かりやすくお伝えしてまいります。どうぞご期待ください。

(吉池 明彦)

議会広報特別委員

委員長	滝沢 清人
副委員長	飯島 孝
委員	北川原 晃
	吉池 明彦
	中村 恒彦
	宮下 繁明
	田中 秀樹
	林 慶太郎

千曲市議会だより

発行／長野県千曲市議会 TEL 026-272-0199(直通) FAX 026-272-0765
ホームページ <http://www.city.chikuma.lg.jp> E-mail : gikai@city.chikuma.lg.jp
発行責任者／千曲市議会議長 和田英幸 編集／議会広報特別委員会
印刷／寺沢印刷(千曲市大字八幡 2069 番地 7)

●千曲市議会だよりは、地球環境に配慮して再生紙(古紙配合率70%)を使用しています。